



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社 紀陽銀行
コード番号 8370 URL <https://www.kiyobank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 原口 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 横山 達慶

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	62,772	3.0	19,800	6.7	13,967	3.1
2022年3月期第3四半期	60,937	8.8	21,229	49.3	14,421	56.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 16,588百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 14,725百万円 (13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第3四半期	212.57	212.38
2022年3月期第3四半期	214.45	214.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,753,069	220,710	3.8
2022年3月期	5,880,722	242,850	4.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 218,906百万円 2022年3月期 241,036百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	82,100	0.6	3,900	83.9	3,000	80.6	45.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	67,300,000 株	2022年3月期	67,300,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,097,642 株	2022年3月期	1,015,902 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	65,707,684 株	2022年3月期3Q	67,248,027 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6

※2023年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、貸出金利息が増加し、預金等利息が減少したものの、債券貸借取引支払利息が増加したことなどにより、資金利益は減少しました。また、役員取引等利益が増加し、営業経費は減少したものの、国債等債券損益は減少しました。

以上などにより、経常収益は前年同期比18億35百万円増加の627億72百万円、経常費用は前年同期比32億63百万円増加の429億71百万円、経常利益は前年同期比14億29百万円減少の198億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億54百万円減少の139億67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が5兆7,530億円、純資産が2,207億円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出等が増加したことなどから、前連結会計年度末比1,623億円増加の3兆5,723億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、前連結会計年度末比811億円増加の4兆6,561億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,375,103	1,175,809
買入金銭債権	0	0
商品有価証券	46	28
金銭の信託	9,783	9,493
有価証券	982,230	867,131
貸出金	3,409,994	3,572,382
外国為替	2,740	3,471
その他資産	56,633	70,775
有形固定資産	34,131	33,952
無形固定資産	3,650	4,047
退職給付に係る資産	27,150	27,476
繰延税金資産	518	10,217
支払承諾見返	7,579	7,183
貸倒引当金	△28,841	△28,901
資産の部合計	5,880,722	5,753,069
負債の部		
預金	4,520,653	4,611,553
譲渡性預金	54,391	44,640
売現先勘定	—	6,624
債券貸借取引受入担保金	201,847	157,876
借入金	795,202	670,123
外国為替	197	212
その他負債	54,223	32,950
退職給付に係る負債	29	30
睡眠預金払戻損失引当金	547	461
偶発損失引当金	388	359
繰延税金負債	2,812	342
支払承諾	7,579	7,183
負債の部合計	5,637,872	5,532,358
純資産の部		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	1,722	1,722
利益剰余金	150,926	160,897
自己株式	△1,615	△3,144
株主資本合計	231,130	239,571
その他有価証券評価差額金	1,787	△27,748
繰延ヘッジ損益	306	431
退職給付に係る調整累計額	7,811	6,652
その他の包括利益累計額合計	9,906	△20,664
新株予約権	101	78
非支配株主持分	1,712	1,725
純資産の部合計	242,850	220,710
負債及び純資産の部合計	5,880,722	5,753,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
経常収益	60,937	62,772
資金運用収益	34,689	35,200
(うち貸出金利息)	25,656	26,055
(うち有価証券利息配当金)	7,898	8,037
役務取引等収益	12,592	12,781
その他業務収益	8,085	8,551
その他経常収益	5,569	6,239
経常費用	39,708	42,971
資金調達費用	450	2,845
(うち預金利息)	104	82
役務取引等費用	3,862	3,812
その他業務費用	8,275	10,221
営業経費	24,012	23,605
その他経常費用	3,107	2,486
経常利益	21,229	19,800
特別利益	0	0
固定資産処分益	0	0
特別損失	152	30
固定資産処分損	149	22
減損損失	3	7
税金等調整前四半期純利益	21,076	19,770
法人税、住民税及び事業税	5,334	4,858
法人税等調整額	1,180	910
法人税等合計	6,515	5,769
四半期純利益	14,560	14,000
非支配株主に帰属する四半期純利益	139	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,421	13,967

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	14,560	14,000
その他の包括利益	164	△30,589
その他有価証券評価差額金	1,445	△29,555
繰延ヘッジ損益	49	124
退職給付に係る調整額	△1,330	△1,158
四半期包括利益	14,725	△16,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,619	△16,603
非支配株主に係る四半期包括利益	105	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況(単体)	P 1
2. 預金等、貸出金の残高(単体)	P 2
3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額(単体)	P 2
4. 自己資本比率(連結)(単体)	P 2
5. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	P 3
6. 金融再生法開示債権(単体)	P 3

(注) 1. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株式会社 紀陽銀行

1. 損益の状況

貸出金利息は貸出金残高の増加により前年同期比3億円増加の260億円、役務取引等利益は事業性関連収益の増加などにより前年同期比1億円増加の65億円、経費は前年同期比6億円減少の235億円となりました。
顧客向けサービス業務利益は前年同期比11億円増加の106億円となるなど、本業の利益は順調に増加しております。
国債等債券損益は外国債券等の売却損を計上したことにより前年同期比27億円減少しましたが、一方で株式等売却益を計上したことにより、株式等関係損益は前年同期比16億円増加の41億円となりました。

(単位:百万円)

(単体)	2023年3月期 第3四半期	前年同期比	2022年3月期 第3四半期
	1 経常収益	55,826	1,587
2 業務粗利益	36,437	3,260	39,697
3 資金利益	32,375	1,890	34,265
4 うち貸出金利息	26,073	395	25,678
5 うち有価証券利息配当金	8,040	139	7,901
6 うち投資信託解約損益	1,674	191	1,483
7 うち預金等利息()	84	21	105
8 役務取引等利益	6,542	107	6,435
9 その他業務利益	2,480	1,477	1,003
10 うち国債等債券損益	4,201	2,700	1,501
11 経費(除く臨時処理分)()	23,556	676	24,232
12 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	12,880	2,585	15,465
13 うちコア業務純益	17,082	116	16,966
14 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	15,407	76	15,483
15 一般貸倒引当金繰入額()	170	550	380
16 業務純益	13,050	2,034	15,084
17 臨時損益	5,619	638	4,981
18 不良債権処理額()	1,342	755	587
19 (与信費用 + ())	(1,172)	(204)	(968)
20 うち貸出金償却()	401	353	754
21 うち個別貸倒引当金繰入額()	850	1,067	217
22 償却債権取立益	619	162	457
23 株式等関係損益	4,176	1,651	2,525
24 その他臨時損益	2,165	420	2,585
25 経常利益	18,670	1,395	20,065
26 特別損益	30	122	152
27 税引前四半期純利益	18,640	1,273	19,913
28 法人税等合計()	5,407	779	6,186
29 法人税、住民税及び事業税()	4,461	613	5,074
30 法人税等調整額()	945	167	1,112
31 四半期純利益	13,233	493	13,726
32 与信コスト総額()	524	17	507
33 顧客向けサービス業務利益	10,633	1,137	9,496

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. 顧客向けサービス業務利益は、以下の通りです。

顧客向けサービス業務利益 = 貸出金平残 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

4. ()は損失項目です。

2. 預金等、貸出金の残高

(単位:百万円)

(単体)	2022年12月末	2022年3月末比		2022年3月末	2021年12月末
		2022年3月末比	2021年12月末比		
1 預金・譲渡性預金(期末残高)	4,677,388	80,966	43,596	4,596,422	4,633,792
2 うち預金	4,622,748	90,718	49,981	4,532,030	4,572,767
3 うち個人預金	3,189,932	70,442	45,649	3,119,490	3,144,283
4 貸出金(期末残高)	3,588,513	164,495	174,921	3,424,018	3,413,592
5 うち消費者ローン	1,170,076	44,931	57,868	1,125,145	1,112,208
6 うち住宅ローン	963,039	33,491	42,503	929,548	920,536
7 中小企業等貸出金(期末残高)	2,692,022	110,134	137,024	2,581,888	2,554,998

3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額

(単位:百万円)

(単体)	2022年12月末	2022年3月末比		2022年3月末	2021年12月末
		2022年3月末比	2021年12月末比		
1 預かり資産残高(期末残高)	140,588	8,244	5,062	148,832	145,650
2 投資信託	137,092	8,030	4,743	145,122	141,835
3 国債等	3,496	214	318	3,710	3,814

(単位:百万円)

(単体)	2023年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	
		前年同期比	2022年3月期 第3四半期
1 預かり資産関連販売額	70,302	19,284	89,586
2 投資信託	34,355	28,305	62,660
3 証券仲介	4,370	2,437	6,807
4 個人年金保険等	31,576	11,458	20,118

4. 自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

(連結)	2022年12月末	2022年3月末	
		2022年3月末比	2022年3月末
1 自己資本比率(2÷5)	10.86%	0.04	10.82%
2 自己資本(3-4)	226,709	9,167	217,542
3 コア資本に係る基礎項目	248,670	9,681	238,989
4 コア資本に係る調整項目	21,961	515	21,446
5 リスク・アセット等	2,086,145	75,740	2,010,405
6 総所要自己資本額(5×4%)	83,445	3,029	80,416

(単位:百万円)

(単体)	2022年12月末	2022年3月末	
		2022年3月末比	2022年3月末
1 自己資本比率(2÷5)	10.18%	0.03	10.15%
2 自己資本(3-4)	212,681	8,230	204,451
3 コア資本に係る基礎項目	229,318	10,370	218,948
4 コア資本に係る調整項目	16,637	2,141	14,496
5 リスク・アセット等	2,088,623	74,539	2,014,084
6 総所要自己資本額(5×4%)	83,544	2,981	80,563

5. 時価のある有価証券の評価差額

当第3四半期のその他有価証券評価差額は、金利上昇を主な要因として国債等の債券やその他(外国債券など)の評価差額が減少し、414億円の含み損となりました。

(単位:百万円)

(単体)	2022年12月末				2022年3月末		
	評価差額	2022年3月末比	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
1 満期保有目的	17	15	-	17	2	-	2
2 その他有価証券	41,452	42,144	15,856	57,308	692	22,477	21,785
3 株式	11,800	5,385	12,497	697	17,185	17,920	734
4 債券	13,399	11,838	705	14,104	1,561	2,264	3,825
5 その他	39,853	24,922	2,652	42,506	14,931	2,292	17,224
6 総合計	41,470	42,159	15,856	57,326	689	22,477	21,787

(注)時価のある子会社・関連会社株式はございません。

6. 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

(単体)	2022年12月末			2022年3月末	2021年12月末
	2022年3月末比	2021年12月末比			
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	14,429	664	321	15,093	14,750
2 危険債権額	55,837	3,389	1,127	52,448	54,710
3 要管理債権額	12,289	783	1,482	11,506	10,807
4 小計	82,557	3,510	2,290	79,047	80,267
5 (合計債権残高に占める比率)	(2.27%)	(0.00)	(0.04)	(2.27%)	(2.31%)
6 正常債権額	3,551,932	159,848	169,661	3,392,084	3,382,271
7 合計額	3,634,489	163,357	171,950	3,471,132	3,462,539

以 上

2023年3月期 第3四半期決算について

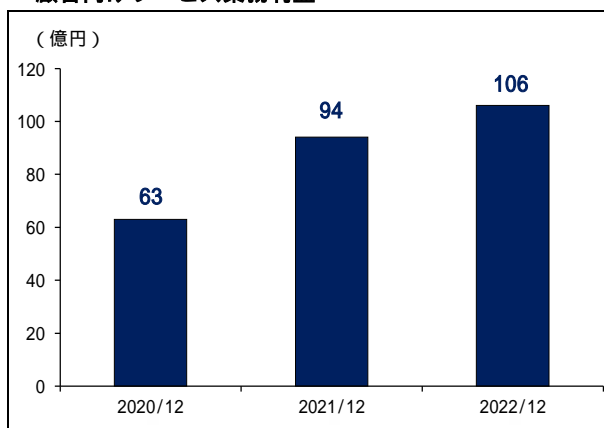
2023年2月3日

- 当第3四半期の単体の経営成績につきましては、貸出金利息や役務取引等利益が増加し、経費が減少しました。また、海外市場における金利上昇を受けた外国債券等の一部売却により国債等債券売却損を計上したものの、株式等売却益を計上しました。以上の要因などから、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は前年同期と同水準の154億円、四半期純利益は前年同期比5億円減少の132億円となりました。
- 「銀行の本業で稼ぐ力」を示す重要な指標と位置付けている顧客向けサービス業務利益は、前年同期比12億円増加の106億円となりました。

<業績概要（単体）>

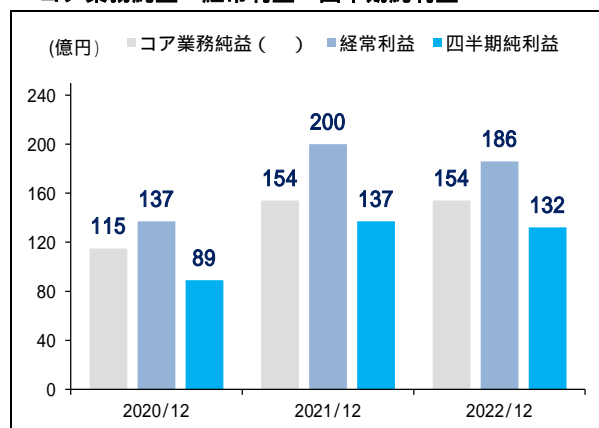
	2023年3月期		2022年3月期 第3四半期
	第3四半期	前年同期比	
1 業務粗利益	364	32	396
2 資金利益	323	19	342
3 うち貸出金利息	260	4	256
4 うち有価証券利息配当金	80	1	79
5 うち投資信託解約損益	16	2	14
6 うち預金等利息（ ）	0	1	1
7 役務取引等利益	65	1	64
8 うち役務取引等収益	109	1	108
9 うち役務取引等費用（ ）	44	0	44
10 その他業務利益	24	14	10
11 うち国債等債券損益	42	27	15
12 経費（ ）	235	7	242
13 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	128	26	154
14 うちコア業務純益	170	1	169
15 うちコア業務純益（除く投資信託解約損益）	154	0	154
16 一般貸倒引当金繰入額（ ）	1	4	3
17 業務純益	130	20	150
18 臨時損益	56	7	49
19 うち不良債権処理額（ ）	13	8	5
20 うち償却債権取立益	6	2	4
21 うち株式等関係損益	41	16	25
22 経常利益	186	14	200
23 特別損益	0	1	1
24 法人税等（ ）	54	7	61
25 四半期純利益	132	5	137
26 与信コスト総額（ ）	5	0	5
27 顧客向けサービス業務利益	106	12	94

<顧客向けサービス業務利益>



顧客向けサービス業務利益
= 貸出金平残 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

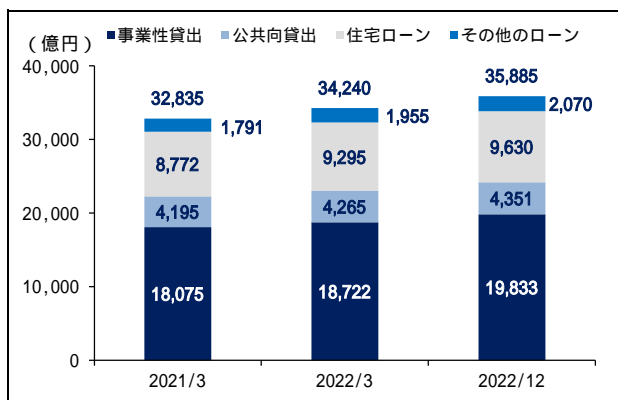
<コア業務純益・経常利益・四半期純利益>



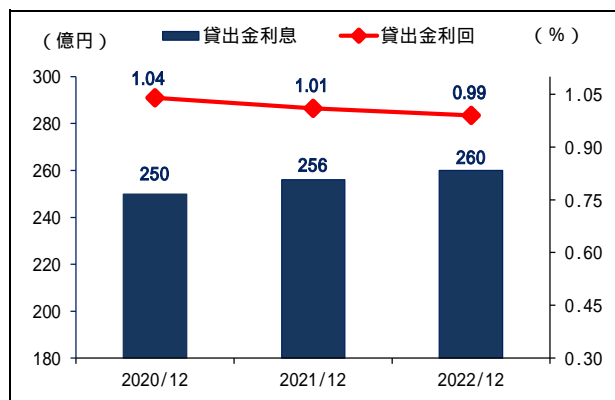
除く投資信託解約損益

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

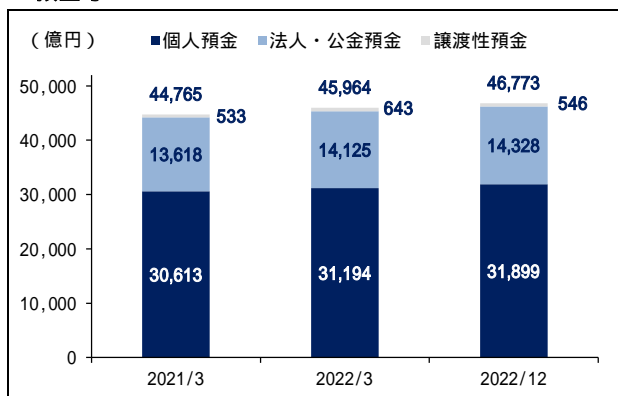
<貸出金残高>



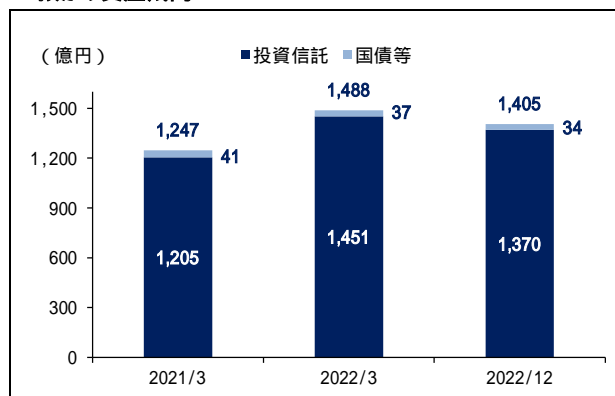
<貸出金利息・貸出金利回>



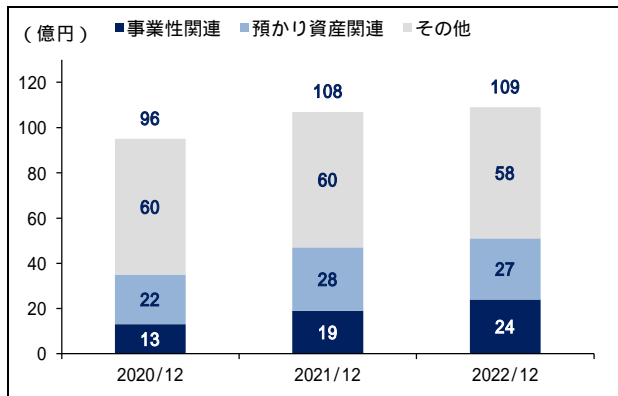
<預金等>



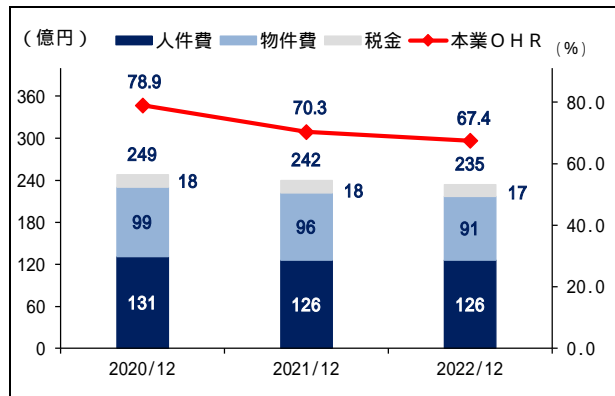
<預かり資産残高>



<役務取引等収益>

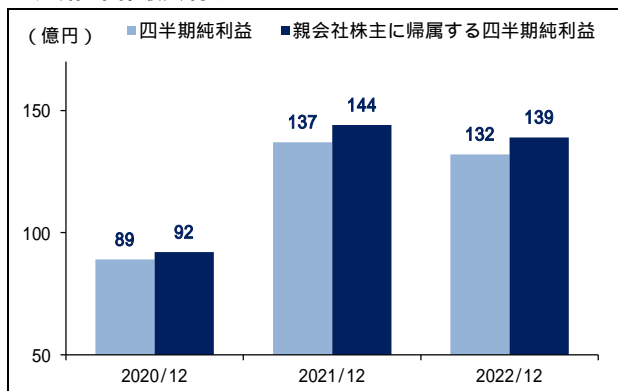


<経費・本業OHR>



本業OHR (単体)
 = 営業経費 ÷ (貸出金平残 × 預貸金利率差 + 役務取引等利益)

<連結・単体最終利益>



<自己資本比率>

